

コード	名 称	区分	コード	名 称
1119-2	林業振興経費(森林林業振興費補助)	会計	01	一般会計
		款	06	農林業費
		項	02	林業費
42	持続的で個性的な農林業を実践する	目	02	林業振興費
		細目	320	林業振興経費
		細々目	51	林業振興経費
担当部署		コード	750100	担当者
名称		名称	青山支所 振興課	氏名
				中山 良恵
				連絡先
				52 - 1114 (内線)

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	青山森林・林業振興対策協議会	※対象件数	27会員
成果(どうする)	当該団体が行う森林・林業振興を対象とした研修会、催し、研究開発の活用支援することで、市民及び森林所有者の森林・林業への関心と理解が高まり、森林林業振興・森林環境の保全が図れる。		
根拠法令・要綱等	伊賀市補助金等交付規則		
開始年度	平成 17 年度	関連事業	
終了年度	平成 22 年度		
H21 事業内容	青山森林・林業振興対策協議会が林業振興や森林保全のための運営と活動に対する補助。 ・研修会の実施 ・ふれあいフェスタin青山の来店ほか		
社会情勢の変化等	特になし		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
実行委員会開催数		回	目標	5	目標	5
			実績	4	実績	4
会員を対象としない研修会・催し等開催数		回	目標	5	目標	5
			実績	5	実績	3

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
会員を対象としない研修会・催し等参加者数(フェスタ来場者除く)		森林保全・林業活性化等に対する理解を深めた人数	人	目標	200	目標	260
				実績	258	実績	174
				目標		目標	
				実績		実績	

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計(A)	220	198	198	198	198	198	198	
Aの財源内訳								
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	220	198	198	198	198	198	198	
事業投入人件費(B)	0.1人	720	0.1人	720	0.1人	720	720	
フルコスト(A)+(B)	940	918	918	918	918	918	918	

事務事業の評価(Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	○
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○
達成度	当初設定した計画を 60%以上80%未満 実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
	予算の繰越の有無 無	
	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	研修会、普及活動等事業の内容をニーズにあったものにする。
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	○
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	この種の団体(森林環境の保全・林業活性化に向けた民間での取組み)は青山以外に無いが、この会の範囲を市域全体に広げることが、市の森林振興、森林環境の保全につながる。
【状況】	計画のとおり進んでいる
【詳細】	
昨年度の取組状況	森林の下刈研修、豊田市足助町へ先進地視察の実施。ふれあいフェスタin青山の来店と幼児の塗り絵展示及び写真展を実施。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	藤原 四郎
【方向性】	現状維持
【理由】	
事業の方向性	森林・林業及び木材産業の振興に寄与できる組織作り。青山管内だけでなく伊賀市全域の森林計画を立てる組織作りを図る。
現時点における課題、その他	木材下落と後継者問題により森林所有者が森林の持つ機能、効用が薄れてきた現在、本協議会への活動支援をアップする必要がある。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	森林、林業、木材関係者が作った協議会であるが、本協議会が森林計画等を作成等行う費用が皆無である。森林のもつ機能等は洪水対策にもつながるため、市が支援することを検討する。